

最近の若者は失敗を極端に嫌うことが多く、リスクを犯してまで挑戦しようとする人が少ないようです。ところで、失敗には、しても良い（許される）失敗も、絶対してはいけない失敗もあります。後者には細心の注意を払い、避けないといけません。前者を避けようとするれば、個人も会社も成長できません。そこで、今回は失敗に対する考え方をランク分けして示してみました。

1. 失敗を恐れて、行動しない。

一番最低のレベルです。失敗は確かに起きないでしょう。しかし、このような考えの人が多い組織は成果を上げられず、やがて崩壊します。ここでは許される失敗を奨励する風土が必要です。

2. 失敗は仕方が無い。気にしない

挑戦する意欲があるため 1 より良い。初心者ならそれで良いかも知れません。しかし、気にしないだけでは、ムダや繰り返しの失敗も発生し続けます。

3. 失敗の原因を冷静に分析できる

このレベルでは、対策を自分で立てられるようになります。ただ、相手や環境に原因がある場合には十分な対策を行えないかもしれません。

4. 自分の側にある失敗の原因を深刻に受けとめ、改善を行う

どんな失敗も自分の側に原因があるものです。8割が外部要因であっても、努力によって避けることは、不可能ではないはずです。このレベルでは失敗はかなり減るでしょう

5. 他人の失敗を自分の失敗防止に活かすことが出来る

よく他人の失敗を笑ったり、バカにする人がいます。しかし、失敗には改善のヒントやチャンスが多く含まれているものです。数が多いほど役に立ものです。だから、自分の体験に加えて他人の経験を参考にすることが出来れば素晴らしいことです。

6. 最悪の事態を想定し、避ける努力を続ける。

このレベルだと、実際の失敗が発生することはほとんどありません。小さなトラブルが起こっても拡大するのを未然に防ぐ体制が取られているからです。

7. 行動するときは必ず成功すると信じる（失敗は全く考えない）

6のレベルに達した後です

「失敗は成功の母」という言葉があります。上手な失敗を多く経験することにより強くなれる（成長できる）ものです。少なりリスクがあっても挑戦（冒険）する時期が『青春』なのでしょう。多くの若者が、夢に向かってがんばる姿に期待したいと思います。